



1学期をふり返って…

入学して3か月がたち、1学期のしめくりの時期になりました。中学生になり、心も体も成長したでしょうか？体育祭、C1グランプリ、テストなどの取り組みに全力で頑張ってきた人は、きっと今、この3か月を短く感じているはずです。

4月に書いた「中学生になったの決意」を覚えているでしょうか。う～んという人は、ファイルを振り返って見てみましょう。「初心を忘るべからず」と昔からよく言われますが、もう一度入学したころの純粋な気持ちを思い出し、夢に向かって歩いていってほしいと思います。ここできちんと振り返って自分を見つめられる人は、夏休みも充実するだろうし、2学期も頑張っていける人です。

また、4月から教室に貼ってある「1年団のおきて」もおざなりになっていないでしょうか。4月には、当たり前でできていたことが、最近は、できていない項目もあると思います。このくらい大丈夫！と一人ひとりが勝手なことをすると、とんでもないことになります。当たりのことが当たり前でできる学年であってほしいと願っています。

今の1年団は大丈夫!?

一年団のおきて

- その一、授業中に私語は絶対しない。
- その二、あいさつは自分からする
- その三、1分前着席厳守。
- その四、忘れ物注意。
- その五、自分の考えは言葉で伝える。
- その六、うけた仕事は責任を持って行う。
- その七、注意されたことは素直に直す

みんなでいい学年にしよう!

クラスの団結力をのばそう!

ここをお読みください

靴箱におかれた靴を見れば、その人の心がわかる



毎朝、時間があれば靴箱をのぞいて靴をそろえています。左右そろってきちんと入れられている人は、何をしても落ち着いて物事を取り組んでいる人に思えます。いつもはきちんとしているのに、そろっていないと、今日はあわてて登校したのだな、今日一日事故がなければいいのになあと感じてしまいます。ましてや、靴のかかとに折れたあとがあるときには、物を大切にしないその人の心に悲しくなります。今は、自分の靴かもしれませんが、一足の靴が完成するまでには何十人もの人の手がかえられているそうです。さらに、トラックなどで運ぶ人、お店で売る人などの手を通してみなさんの手元にあるのです。そして、その靴を買うのに必要なお金は、お家の人が毎日働いて得た貴重なお金です。物はなんにもいいません。しかし、物言わぬ物はもの言う人間が作っています。物を大切にすることとは人を大切にすることにつながるのではないのでしょうか。